

保険適用価格(窓口での負担額)2022年4月～

1. 生殖補助医療管理料:750円(体外受精周期毎)

排卵誘発剤:実費(保険) 約10,000～20,000円

超音波、ホルモン検査(保険) 1回約4,000円

※1周期3回程度

2. 採卵基本料:9600円 + 採卵毎にB～Eを加算

A	0個	9,600円 (採卵基本料のみ)
B	1個	+ 7,200円 (合計16,800円)
C	2～5個	+ 10,800円 (合計20,400円)
D	6～9個	+ 16,500円 (合計26,100円)
E	10個以上	+ 21,600円 (合計31,200円)

※麻酔は別途

3. 受精法

3-1. 媒精(ふりかけ)12,600円(個数にかかわらず)

3-2. 顕微授精(ICSI)

A	1個	14,400円
B	2～5個	20,400円
C	6～9個	30,000円
D	10個以上	38,400円

※ 媒精とICSI両方実施(Split-ICSI)の場合は

顕微授精(A～D)+媒精の半額(6300円)

※ TESE精子使用の場合は15000円加算

※ 卵子活性化(カルシウムイオノフォア):3000円

※ 先進医療:IMSI 顕微授精(A～D)+20000円(自費)

4. 受精卵培養(採卵翌日から:受精した個数毎)

A	1個	13,500円
B	2～5個	18,000円
C	6～9個	25,200円
D	10個以上	31,500円

※ 先進医療:タイムラプス培養加算30000円(自費)

5. 胚盤胞培養加算(胚盤胞培養へ移行した数)

A	1個	4,500円
B	2～5個	6,000円
C	6～9個	7,500円
D	10個以上	9,000円

6. 胚移植

A	新鮮胚移植	22,500円(AHA/GLUE込み:28,500円)
B	融解胚移植	36,000円(AHA/GLUE込み:42,000円)

※ AHA(アシステッドハッチング) 3,000円

※ GLUE(ヒアルロン酸培養液添加) 3,000円

7. 胚凍結保存

A	1個	15,000円
B	2～5個	21,000円
C	6～9個	30,600円
D	10個以上	39,000円

※ 保険と併用可能な先進医療(自費) 2022年4月

A	ERA	130,000円
B	EMMA/ALICE	60,000円
C	SEET法	50,000円
D	子宮内膜スクラッチ	30,000円
E	IMSI	20,000円
F	タイムラプス培養	30,000円

※ 40歳未満は6回、40歳以上43歳未満は3回までで

「移植」でカウントします。年齢制限にかかる誕生日が近い方は事前に確認をお願いします。

※ 保険で採卵をした場合、全ての凍結胚を移植しないと、次の採卵はできません。

※ 将来使用目的での採卵は保険対象外です。

※ 混合診療はできません。

<費用シミュレーション>

※治療内容により実際の費用は個人差がございます。

1.管理料・薬剤他 20,000～30,000円	+	2.採卵(A～E) 見込数または とりあえずEで計算	+	3.受精法(媒精またはA～D) 参考:顕微の場合は採卵数の 9～8割の個数で計算	+	4.培養(A～D)+(先)タイムラプス3万円 参考:採卵数の8～7割の個数で計算
5.胚盤胞(A～D) 参考:採卵数の7～6割 の個数で計算	+	6.胚移植(AまたはB、+AHA/GLUE) 移植周期に薬剤・検査等で 別途2～5万円	+	7.胚凍結保存(A～D) 39歳以下は採卵数の4～3割 40歳以上は採卵数の3～2割	=	合計(見込み負担額)

不妊治療の保険適用について
(厚生労働省リーフレット)
※体外受精の保険適用には年齢により
回数の制限がございます。



治療費が高額な場合の月額上限
(高額療養費制度)もあります。
(厚生労働省HP)



Fertility Clinic Tokyo

当院HPでは小田原院長が保険制度についてお話しした動画を掲載しています。